

人形供養祭

人形（雛人形・五月人形・日本人形・ぬいぐるみ）への感謝の気持ちを込めて、年二回行われる行事。
人形のお納めは、毎日午前九時より午後四時半までお受け致しております。

神前祈禱

家内安全・商売繁昌・交通安全・厄除・方位除・安産・初宮詣・七五三詣・病氣平癒・社内安全
社業繁栄・営業繁栄・業務安全・工事安全・他諸祈願

受付時間 午前九時より午後四時半まで（毎日随時受付）

出張祭典

地鎮祭・上棟祭・新宅祭・起工式・竣工式・撤去清祓・神葬祭・年祭・他諸祈願
受付方法 社務所までこ来社されるか、電話にてお申し込み下さい。

（表紙写真・徳川家康四百石寄進状）

寄進

徳川家

氏我國を南に統べる

四百石事

名は先規今もあはれし流

参拝のしおり

埼玉県選定重要遺跡・関東最古の神社

武蔵国鷲宮神社

鎮座地 埼玉県北葛飾郡鷲宮町鷲宮一の六の一
電話 〇四八〇(五八) 〇四三四番
FAX 〇四八〇(五九) 二〇二一番
交通 東武伊勢崎線わしのみや駅下車徒歩約七分
JR宇都宮線東鷲宮駅下車タクシー約十分

東北自動車道久喜・加須インターより約十五分





御祭神

主な御神徳

天穂日命（あめのほひのみこと）
商売繁昌・出世金運・厄難消除
武夷鳥命（たけひなとりのみこと）
交通安全（水上・陸上・航空）
大己貴命（おおなむぢのみこと）
家内安全・開運招福・病氣平癒

合祀祭神九柱

建御名方神（たけみなかたのかみ）
伊邪那美神（いざなみのかみ）
大山祇神（おおやまづみのかみ）
宇迦之御魂神（うがのみたまのかみ）
大山咋神（おおやまぐひのかみ）
天照皇大神（あまてらすすめおほかみ）
迦具土神（かぐつちのかみ）
素盞鳴尊（すきののみこと）
菅原道真公（すがわらのみちざねこう）
産業振興
子孫繁栄・縁結び
農業振興
五穀豊穰
厄除け・魔除け
家内安全
火難除・交通安全
無病息災・方位方災除け
学業成就・受験合格

年間の主な祭典

一月 一日 歳旦祭 国家の隆昌と平和を祈り今年の誓いを新たにす祭典
二月 十一日 紀元祭 神武天皇建国の聖業を偲び平和を祈る祭典
二月 十四日 年越祭 旧正月、驚のとしと呼ばれ厄除けの豆がまかれる
二月 十四日 大祓式 形代に罪穢を負わせ祓い清める儀式
二月 二十日 新年祭 春に先だって農産物の豊稔を祈る祭典
三月 二十八日 例祭 本社御鎮座の日を祝う最も重要な大祭
四月 十日 春季祭 氏子崇敬者の家内安全・身上安全を祈る祭典
七月 三十一日 夏越祭 氏子崇敬者の無病息災を祈る祭典
七月 三十一日 大祓式 形代に罪穢を負わせ祓い清める儀式

御由緒

当神社は、出雲族の草創に係わる関東最古の大社である。神代の昔に天穂日宮とその御子武夷鳥宮とが、昌彦・昌武父子外二十七の部族等を率いて当地に神崎神社（大己貴命）を祀り、さらに天穂日宮の御霊徳を崇め、別宮を建てて奉祀したのに始まる。

崇神天皇の御世には、太田々根子命が司祭し、豊城入彦命、彦狭島命御諸別王が、それぞれ幣帛を奉納した。景行天皇の御世には、日本武尊が当社の御神威を崇め尊み、社殿の造営をし、併せて相殿に武夷鳥命を奉祀した。桓武天皇の御世には、征夷大將軍坂上田村麿が、武運長久を祈り奥州鷲の巣に当社の御分社を奉祀した。中世以降には、関東の総社また関東鎮護の神として、武將の尊崇が厚く歴史上有名な武將だけでも藤原秀郷・源義家・源頼朝・源義経・北条時頼・北条貞時・新田義貞・小山義政・足利氏歴代・古河公方・関東管領上杉氏歴代・武田信玄・織田信長・豊臣秀吉・徳川家康等があげられ、武運長久を祈る幣帛の奉納や神領の寄進、社殿の造営等がなされた。江戸時代には、四百石の神領を与えられ、歴代將軍の朱印状が残されている。明治天皇の御世には、神祇官達により准勅神社に定められ、勅使参向のもと幣帛の奉納がなされた。そして明治天皇行幸の際、当社に御小穂され、祭祀料として金壹封を賜り、昭和天皇の御世にも幣帛を賜った。終戦の後、神社本庁包括宗教学法として氏子崇敬者の尊信を専らにしていることなど、今日にいたっている。

史跡と主な宝物

埼玉県選定重要遺跡 堀内遺跡

当神社境内地及び周辺地区は、上代人の住居跡地であり縄文・弥生・古墳時代の複合遺跡と称され、約三千年前の曲玉や土器が、多種にわたり出土している。（町指定史跡）

寛保治水碑

寛保三年（一七四三年）長州毛利公によって利根川堤防の修築が完工したこと、の記念碑。（県指定史跡）

太刀

永和二年（一三七六年）小山下野守義政の寄進。（国指定重要文化財）

銅製双鶴蓬平文鏡

蓬平山に鶴と亀が遊ぶ図柄。

（県指定有形文化財）

銅製桐文方鏡、付沈金彫文笥

年間の主な祭典

一月 一日	歳旦祭	国家の隆昌と平和を祈り今年の誓いを新たにす祭典
二月 十一日	紀元祭	神武天皇建国の聖業を偲び平和を祈る祭典
二月 十四日	年越祭	旧正月、驚のとしこしと呼ばれ厄除けの豆がまかれる
二月 十四日	大祓式	形代に罪穢を負わせ穢い清める儀式
二月 二十日	新年祭	春に先だつて農産物の豊穡を祈る祭典
三月 二十八日	例 祭	本社御鎮座の日を祝い最も重要な大祭
四月 十日	春季祭	氏子崇敬者の家内安全・身上安全を祈る祭典
七月 三十一日	夏越祭	氏子崇敬者の無病息災を祈る祭典
七月 三十一日	大祓式	形代に罪穢を負わせ穢い清める儀式
八月 七日	風入祭	社蔵の御神宝を風入り(虫干し)する行事
十月 十日	秋季祭	氏子崇敬者の家内安全・身上安全を祈る祭典
十一月 二十六日	新嘗祭	新穀を神前にお供えし豊作を感謝する祭典
十二月初酉の日	大酉祭	お酉様の本社として福をかき取る景氣のよい各種縁起物が社頭授与される
十二月二の酉日	二の酉祭	
十二月三十一日	除夜祭	一年間の報恩を感謝する祭典
毎月 一日	月次祭	毎月一日氏子崇敬者の家内安全などを祈願する祭典



富久福娘(福娘)

当神社別宮に奉祀される御祭神大己貴命は、別名を大國主命という開運招福・福授けの神様です。

当社では、毎年正月おめでたい富久福娘に扮した奉仕者が、初詣に御参拝される先着七万名の方々に開運招福を願う縁起物(福銭・笑門来福札)を授与いたしております。

お受けになりました福銭は、財布等にお納め下さい。また、笑門来福札は、幸福は喜悅の門から入ってくるという謂れの縁起物ですので玄閻等にお張り下さい。

寛保治水碑

弥生・古墳時代の複合遺跡と称され、約三千年前の曲玉や土器が、多種にわたり出土している。(町指定史跡)

太刀

寛保三年(一七四三年)長州毛利公によって利根川堤防の修築が完工したことの記念碑。(県指定史跡)

銅製双鶴蓬平文鏡

銘「備中国住人吉次作」(国指定重要文化財)

銅製桐文方鏡、付沈金彫文筥

鏡の背には全体に桐の文様が浮き出されている。納められている筥は、金を漆に埋め込んだ沈金の手法で製作。(県指定有形文化財)

鷲宮神社文書付棟札(室町・戦国時代)

足利氏・北条氏・太田氏関係の中世文書と、文禄四年の社殿造営の棟札。(県指定有形文化財)

土師一流催馬楽神楽

(国指定重要無形民俗文化財) この神楽の始行年代は明らかではないが、古文書「東鑑」に紹介されている。享保年間以前には三十六座の曲目があり、それを時の大宮司藤原国久が現在の十二座に再編成したと伝えられている。

演目の大半は、古事記・日本書紀の神話に材を取った一種の舞踊劇で神楽舞の中に催馬楽を取り入れている特色があり、舞の型には四方固めや三度(三歩ずつ歩く)などといった宗教味の濃い動作が含まれている。なお関東地方に分布する神楽の多くが、この土師流から出たということから、関東神楽の源流と称されている。

(元旦・二月十四日・四月十日・七月三十一日・十月十日・十二月初酉日奉演)

